

緩和ケアチームの紹介

緩和ケアチームの紹介

緩和ケアチームは、2008年より活動を開始し今年で12年目となりました。

「緩和ケア」は体のつらさ、気持ちのつらさを抱えた患者さまとご家族さまを総合的に支えていく医療のことです。当院は地域がん診療連携拠点病院としてがんに対する治療を積極的に行っています。「不安」や「心配事」などは**がんと診断された時から**生じます。また治療中にも様々な「苦痛」が加わることがあります。体の症状によるつらさ以外にも金銭的な心配事や就労の問題など、様々な「苦痛」が混在することも多くあります。**緩和ケアチーム**はこれらの苦痛に対し、主治医と協力して患者さま、ご家族さまを支え、痛みなどへの専門的な対処や気持ちのつらさを和らげることを目指します。

緩和ケアチームのメンバー



身体症状担当医、精神科医、緩和薬物療法認定薬剤師、緩和ケア認定看護師、臨床心理士、理学療法士（リハビリ）、医療ソーシャルワーカー（MSW）、管理栄養士がチームとして活動しています。日本緩和医療学会認定医である放射線治療専門医が画像所見の確認などのチームサポートをしています。現在、緩和ケアチームは一般病棟に入院している患者さまを対象として活動していますが、必要に応じて外来での継続的な対応も検討します。2018年度より終末期心不全の緩和医療にも関わる様になりました。

活動内容

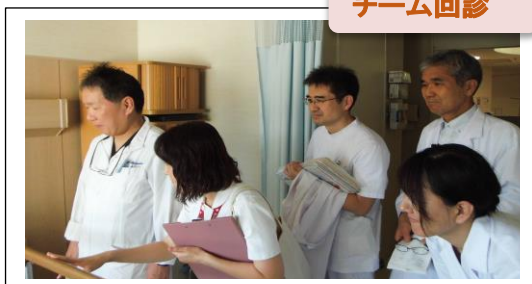
◇ カンファレンスの実施

患者さまやご家族さまの状況を多職種の専門的視点から把握し、問題点や具体的支援の内容について話し合い、主治医や病棟スタッフへケアや治療内容を推奨します。

◇ チーム回診

患者さまやご家族さまから、困り事や心配事を伺い、意向を直接確認し、実施可能なケア方法について相談します。

チーム回診



◇ スクリーニング病棟訪問

医療用麻薬を使用している入院患者さまを中心に、苦痛のスクリーニングをします。

◇ リンクナース

チームとの楔的役割を担う各病棟の看護師が、心身の苦痛をもつ患者さまを専門的緩和ケアへつないでいけるよう活動しています。月に1回リンクナース会議を開催し、勉強会や情報共有を行い緩和ケアの質の向上に努めています。

リンクナースメンバー



緩和ケアチームへの相談をご希望の場合は、主治医や看護師へお伝え下さい。